

大学教育再生加速プログラム採択事業ワークショップ報告

知の理論ワークショップ

「低所得世帯の学生に TOK を教えることの意味」

1. 日 時：平成30年9月9日（日）10：00～12：00
2. 場 所：岡山大学津島キャンパス L-café
3. 主 催：岡山大学アドミッションセンター
4. 参 加：国際バカロレア教育（特に TOK）に関心のある教育関係者、一般の方
5. 参加人数：約40名
6. 講 師：David Gregg 氏（米国シカゴ市セン高等学校・国際バカロレア・コーディネーター）

7. 概 要：

国際バカロレア教育はエリート育成のための教育と評されることもあるが、北米では、経済困難地区の教育困難校に導入され、地域教育改善の成果をあげてきた。特に、シカゴ市は、市が実施主体となって公立の低所得者学区の高校に導入を進めた。この TOK のワークショップは、その低所得者学区の IB 校において、最初に TOK を担当した David Gregg 氏から、その時の工夫、経験を紹介していただいた。その後、参加者は少数のグループに分かれて、講師指導の下、TOK 活動の実践を行い、授業参加者の学力や関心が多様であるなかでの TOK 的な教育方法の活用の仕方を学んだ。



大学教育生協プログラム

知の理論ワークショップ 「低所得世帯の学生にTOKを 教えることの意味」

IB教育プログラムのコア科目である「知の理論 Theory of Knowledge (TOK)」では、私たちが「知っている」と主張することを知りたいのかと問いかけます。「知識が構築されるプロセス」を多角的な視点から捉えることにより、探究や考察に必要な能力やスキルを修得し、さらに知識を概念化して思考する力を養います。このように自ら進んで学び、考え、判断する能力を獲得して自律した学習者を育てることは、現在進行中の日本の教育改革の目指すところです。

このワークショップでは、米国イリノイ州シカゴ市の低所得者学区に導入されたIB校でTOKを担当してきた教員が自らの経験から得た知見を紹介・共有してくれます。人種、学力、経済的背景も多様な学習困難校でTOKを教えることの意味は何なのか。どのような難しさがあり、それをどう乗り越えればよいのかなど、参加者のみなさんからのご質問や懸念に、実際の授業実践を交えながらお答えします。

David Gregg
前TOK担当,
現Coordinator,
Nicholas Senn High School,
Chicago

【お申し込み】

9月4日までに下記のサイトで

<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/admissions/>

【お問い合わせ】

岡山大学 アドミッションセンター

admission@okayama-u.ac.jp

9月9日(日) 10:00~12:00

岡山大学 L-café
(津島キャンパスの下記リンク地図)

<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/lcafe/access/>



大学教育生協プログラム

WORK SHOP 「Teaching TOK to Low-Income Students :Personal & Shared Knowledge from a Chicago School」

IB教育プログラムのコア科目である「知の理論 Theory of Knowledge (TOK)」では、私たちが「知っている」と主張することを知りたいのかと問いかけます。「知識が構築されるプロセス」を多角的な視点から捉えることにより、探究や考察に必要な能力やスキルを修得し、さらに知識を概念化して思考する力を養います。このように自ら進んで学び、考え、判断する能力を獲得して自律した学習者を育てることは、現在進行中の日本の教育改革の目指すところです。

このワークショップでは、米国ミシガン州シカゴ市の低所得者学区に導入されたIB校でTOKを担当してきた教員が自らの経験から得た知見を紹介・共有してくれます。人種、学力、経済的背景も多様な学習困難校でTOKを教えることの意味は何なのか。どのような難しさがあり、それをどう乗り越えればよいのかなど、参加者のみなさんからのご質問や懸念に、実際の授業実践を交えながらお答えします。

[Facilitators]
David Gregg 氏
(Nicholas Senn
High School)

【Register】

Register online by Sep. 4th

<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/admissions/>

【Question】

Okayama Univ. Admissions
Center

admission@okayama-u.ac.jp

Sunday, September 9 10:00~12:00

Okayama University L-café
(E4 in the map below)

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_e.html